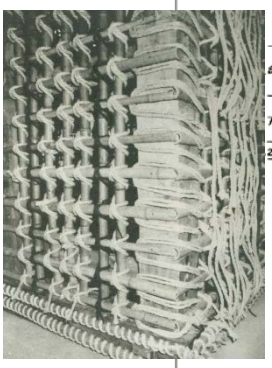

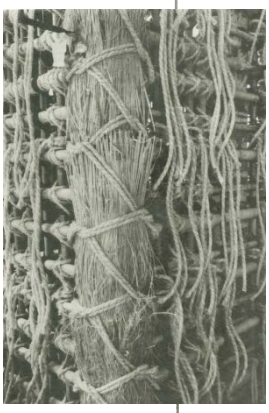

●旧西川家土蔵は、築300年程経過した三階建ての建造物である。明治44年に屋敷内で曳屋されている。柱はすべて当初のものであり、一部根継ぎがされている。壁から軒まで全て棕櫚縄を垂木に巻いた塗りごめで納め、耐火性、耐久性において参照すべき工法であると思われる。写真は壁土を厚く練りつける下がり縄や柱巻きである。

梁行断面詳細図

図：「重要文化財 旧西川家住宅主屋・土蔵修理工事報告書」

当出版物(PDFなどの電気的・磁気的ファイルを含む)は著作権を有しております。一部あるいは全てにおいて、改変、複製、転写等、著作権法により禁じられております。商業目的であるか否かを問わず、無断で再配布(直リンクを含む)することを禁止いたします。